

新風 NEW BREEZE 2021

公明党八王子総支部 ニュース VOL.52 新春号

公明党八王子総支部長 東京都議会議員

東村くにひろ

ごあいさつ

新年の出発にあたり、ご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルスが世界で猛威を振るい、皆様が大変なご苦勞をされている中、変わらぬ真心のご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

東京都議会議員として活動させていただき早5期20年。危機的状況にあった東京都の財政を立て直すため、全国初となる新公会計制度を導入して財務内容を改善させたのをはじめ、防災・防犯や医療・福祉の充実、教育環境の整備、産業振興や賑わいのまちづくりなどに取り組み、様々な実績をつくらせていただきました。

目下、新型コロナ対策に全力で取り組んでいますが、医療関

係者の皆様のご尽力、都民の皆様のご協力により、ようやく現場は支えられているのが現実です。また、大打撃を受けている地域経済も正念場を迎えようとしているところです。

未曾有のコロナ禍を乗り越えるため、政治には今、強力なリーダーシップが求められています。私はこれまで培った政治経験を生かし、都民の皆様が心から安心して暮らせるよう、都政の先頭に立ち、全身全霊で働いてまいる決意です。

皆様の絶大なるご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

公明党八王子総支部長 東京都議会議員
東村くにひろ

政策実績はコチラ

公式ホームページ



ぜひ友達登録を！

公式LINE



都政のど真ん中で都民を守る！ 都議会公明党、東村幹事長先頭に都政をリード

東京都議会第4回定例会(2020年11月30日～12月16日)が開かれ、都議会公明党は新型コロナ対策、子育て・高齢者施策、中小企業対策、学校教育など重要課題に関して積極的に提案し、都民を守る施策を前進させました。その模様を報告致します。

産後の子育て支援を強化！ 一時預かり事業をさらに推進

都議会公明党は「一時預かり事業に参加したい」との保育事業者の声を受け、出産もない家庭を支援するため、一時預かりを活用すべきと提案。都は「産後ケア事業と併せて一時預かり事業等の活用が一層進むよう、市区町村に積極的に働きかけていく」と答えました。子育て支援が強化されます。

地域経済を全力で支援せよ！ 都独自で地域振興券の発行を

市区町村の独自発行によるプレミアム付商品券の利用期限が本年2月末で終了しますが、東京都が主体となって引き続き地元自治体、商工会議所と連携しながら地域振興券(プレミアム付商品券)を発行するよう強く要望しました。東京都が地域経済を支えています。



高齢者・障がい者施設を支えよ PCR検査の補助継続を要望

現在、高齢者・障がい者施設の利用者・職員を対象とした定期的なPCR検査に補助を行っていますが、都議会公明党は2021年度も引き続き支援策を講じるべきと要望しました。東京都は高齢者施設などでのクラスター発生を防ぐため、施設の感染拡大防止に万全を尽くす考えを改めて示しました。

肺炎球菌ワクチンで高齢者を守れ 費用助成など接種率改善策を提案

国は2014年、高齢者肺炎球菌ワクチンを定期予防接種の対象と位置づけ、65歳の方を対象に接種を勧めていますが、公費助成はなく、都内接種率はわずか3割に留まっています。コロナ禍も重なり、具体的な接種率改善策を提案したところ、小池都知事は「定期予防接種対象者への新たな支援策の検討を進める」と明言しました。

発熱相談センター、相談体制を強化 電話回線を大幅に増強

都議会公明党の提案で昨年10月30日、「発熱相談センター」がスタート。冬季に入り、相談件数が増加し、体制強化を求めたところ、電話回線が従来の30回線から50回線に増強されました。

知っ得情報★こんな時どうする!?

発熱した場合	かかりつけ医がいる場合 かかりつけ医に電話して受診
	かかりつけ医がない場合 【東京都発熱相談センター】 03-5320-4592 (24時間：土日祝含む毎日)
で通知が来た場合 (COCOA) 接触確認アプリ	電話番号はCOCOAの通知でお知らせします。
	【八王子市COCOA受付電話】 070-1470-6941 または 070-1279-1708 (8時30分～17時：土日祝除く)
感染不安や予防など 相談したい場合	【東京都新型コロナコールセンター】 0570-550571 (9時～22時：土日祝含む毎日)
	【八王子市総合コールセンター】 042-620-7253 (8時30分～17時：土日祝含む毎日)

2020年12月28日時点の情報

東京都の教育施策のさらなる充実に取り組む



私立高校の授業料無償化 補助金支給期間の短縮を要望

公明党は私立高校の無償化を推進し、昨年4月から所得要件を大幅に緩和しましたが、審査に時間を要し、保護者への補助金給付に数カ月を要する現状があります。

都議会公明党は補助金支給までの期間を短縮するとともに、最終的に保護者が学費支払いの手続きを行わなくても済むよう、保護者に寄り添った制度への改善を強く求めています。東京都に粘り強く働きかけ、実現してまいります。



通信制高校の無償化を推進 都民が在籍する全校に拡大を

都議会公明党が推進してきた私立高校の授業料無償化に関連し、東村くにひろ都議会議員に「都認可外」の通信制高校も無償化の対象に加えてほしいと強い要望が寄せられました。東村都議の強い働きかけを受け、東京都は都認可外の通信制高校における都民在籍状況を調査したところ、63校に在籍が確認され、対象校拡大の具体的検討が始まりました。都民在籍の全ての通信制高校が無償化されるよう取り組んでいきます。



都立高校のICT環境充実を 1人1台端末の整備を求める

都議会公明党は、都立高校の生徒に1人1台のパソコンを整備し、ICTを活用した効果的な教育を提供できるよう、いわゆる「都立高校GIGAスクール構想」の具体化を提案しました。小池都知事は「高校段階の学びにふさわしい1人1台端末の整備に向け、仕様や整備方法について着実に検討を進める」と答えました。今後社会で必要となるICTの資質や能力を備えた人材育成を進めます。

八王子市政トピックス

より住みよい八王子を目指して—公明党が推進！

おたふくかぜワクチン 接種費用の一部助成が開始

現状、おたふくかぜワクチンは定期接種化されていません。公明党の働きかけにより、八王子市は2020年9月から接種費用の一部助成をスタート。接種費用は3,000円(税込)となります。接種費用2回の助成は多摩地域として初めてとなりました。

【対象者】市内在住の1歳および小学校就学前1年間の子ども ※2020年度に限り、経過措置として1歳～小学校就学前の全ての子どもを対象

【助成回数】2回(年度内1回まで)

【自己負担額】3,000円/回

詳しくはこちら↑



産前産後の母親を強力に支援！ 産後ドゥーラの導入が実現

出産前後のお母さんの忙しい時期、家庭にヘルパーを派遣して「家事と育児」をサポートする子育て支援サービス「ハローベビーサポート」がさらに充実します。公明党の度重なる訴えにより、産後ドゥーラの利用が可能になりました。産後ドゥーラとは、家事・育児の垣根なく、産前産後のお母さんに寄り添い、支えるサポーターです。今後もお母さんと子どもを支えるしくみを強化します。

【利用できる時間】月～土曜日(日・祝・年末年始は休み)午前8時から午後6時までの2時間以内(1時間単位) ※健診の付添に限り要相談。交通費がかかる場合、実費は利用者が負担。

【利用料金】1時間 500円、2時間 1,000円

【申請方法(電話受付)】八王子市子ども家庭支援センター TEL 042-656-8225

【利用開始】2021年1月から 産後ドゥーラを利用したい時は、ハローベビーサポートの申し込み時に「産後ドゥーラ希望」と伝える



詳しくはこちら↑

発達障がいの療育を充実 初診の期間短縮、家族支援を強化

市事業の委託先であり、発達障がいなど療育の診療を受ける「島田療育センターはちおうじ」では、外来診療の増加に伴い、初診に1年以上を要するなど、待機期間の長さが課題でしたが、数カ月まで時間短縮を実現しました。

また、理学療法士や言語聴覚士の資格をもつ職員による、受診者の言葉、運動の発達など家庭内でも実践できる療育方法の指導や、初診までの心身のサポートを提案。公明党の主張に沿った支援の体制充実が図られます。東村都議に寄せられた多くの声がカタチとなりました。



市内コンビニにAEDを配備

コンビニエンスストアへのAED(自動体外式除細動器)配備がスタートしました。2020～2022年度の3ヵ年でコンビニを中心に町会・自治会館、消防団詰所など250カ所に設置する計画が具体化、今年度はコンビニに74台、消防団詰所に1台を配備します。

公明党は町会・自治会、自主防災などから強い要望を受け、24時間営業のコンビニへのAED配備を訴えてきました。身近なコンビニが、緊急事態に人命を救う地域の拠点になります。